

箕面公園昆虫館 <http://www.mino-konchu.jp>
〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18
TEL.072-721-7967

vol.20 TAKE FREE

箕面公園で昆虫たちと遊ぼう

箕面公園

昆虫館

だより

Minokoen Konchukan

Vol.20



アカシジミ
(シジミチョウ科)

Japonica lutea

5月末から6月にかけて、雑木林で見られる赤いシジミチョウです。夕方に食樹のコナラやクヌギ、アベマキなどの近くを群れて飛ぶ姿が見られます。

兵庫県三田市 2015年5月27日 中峰館長撮影

special [特集]

気をつける、ヤツらはすぐそこにいる！

「身近にせまる虫」

report

～ 展示の裏側 お見せします ～

「バックヤードのひみつ」

知って対策、学んで予防

身近にせまる虫

2022年 5/11(水)~9/5(月)まで

今回の企画展では
コワイ虫を展示しています。
でも怖がらず
しっかりと学んで身を守ろう!



箕面公園昆虫館
中峰 空 館長

よく知って身を守ろう!

怖がらずにしっかり学ぼう

今回の企画展は「身近にせまる虫」と題して、いわゆる「害虫」をテーマにしました。その中でも特に危険生物として認識される種を取り上げて展示しています。野外での生き物観察はとても楽しいものです。でも、じっくり楽しむためにはそこにある危険な物事について、よく知り深く理解し予防することがとても大切です。この企画展では危険生物の対処法を解説しました。これがみなさんの身を守る一助になれば幸いです。



クロシタアオイラガの幼虫 (イラガ科)

Parasa bilarula

サクラやクスギ、カキノキなどいろいろな木の葉を食べます。

ここに注意

とにかくさわらないこと。葉の裏にすることが多いのでよく確認する。刺された時は痛い、長く続かないことが多い。毒のトゲが残っている場合は粘着テープで取り除く。痛む時は保冷剤を患部にあてる。



オオスズメバチ (スズメバチ科)

Vespa mandarina

近畿地方にはスズメバチ亜科が約10種、アシナガバチ亜科が8種分布しています。種によって攻撃性の高低はありますが、全種毒針を持っているので注意が必要です。

ここに注意

ハチが近づいてきても手で追い払わない。「カチカチ」という音を出しながら飛び回っていたら巣が近いことを知らせているのでゆっくり離れる。刺されたら急いでその場を離れて安静にし、刺されたところを冷やす。めまい、けいれん、じんましん、息苦しさなどがあれば救急車をよぶ。

戸外で
気づかぬうちに
そこにいる

気をつけろ!
ヤリらはすぐそこにいる!

トビズムカデ (オオムカデ科)

Scolopendra subspinipes mutilans

主に林の倒木や石の下に生息しています。昆虫や小動物を食べる肉食性です。

ここに注意

寝ている時に手で払いのけたり、靴やスリッパの中に潜んでいて知らずにはいた時に咬まれることがある。咬まれたら抗ヒスタミン、ステロイド入りの塗り薬が有効だが症状が強い時は皮膚科を受診する。めまい、けいれん、じんましん、息苦しさなどがあれば救急車をよぶ。



チャドクガ (ドクガ科)

Arna pseudoconspersa

幼虫はツバキ、サザンカ、チャノキなどツバキ科の木の葉を集団で食べます。卵、幼虫、蛹、成虫の全てに毒のある毛(毒針毛)があります。

ここに注意

集団でツバキやサザンカを食べている毛虫を見かけたら近づかない。刺されたら粘着テープを何度も当てて毒針毛を取り除く。患部を流水でよく洗う。症状がひどい場合は皮膚科を受診する。



成虫



タカサゴキララマダニ (マダニ科)

Amblyomma testudinarium

箕面付近ではタカサゴキララマダニとフトゲマダニの2種が見られます。どちらも吸血寄生性で血を吸う時に病原体を媒介することがあります。

ここに注意

ひざの高さくらいまでの草の先についていることが多いので、草むらに近づいたり入ったりしない。マダニ類がいるところに行ったらお風呂の時などに体をチェックする。刺されてから数日経過していたら抜くのが難しいので皮膚科を受診する。発熱などの症状がでてきたら迷わず病院に行く。



吸血して満腹状態の幼体

トコジラミ (トコジラミ科)

Cimex lectularius

主に人に寄生して血を吸います。殺虫剤の発達で1970年代には激減しましたが、2000年代から殺虫剤が効かないトコジラミが見られるようになりました。その後爆発的に増加し、近年は宿泊施設での蔓延が問題になっています。

ここに注意

刺されたらステロイド入り塗り薬が有効。畳の隙間や壁、柱の割れ目などの潜んでいる場所を見つける。普通の殺虫剤は効きにくいのでトコジラミ専用のものを使う。



屋内で
知らないうちに
身にせまる

ネコノミ (ヒトノミ科)

Ctenocephalides felis

主にネコに寄生しますが、イヌやヒトにも寄生します。現代の日本ではヒトノミとイヌノミはほとんど見られず、身近に刺されるノミといえばほぼ全てネコノミです。

ここに注意

刺されたらステロイド入り塗り薬が有効。室内で発生している場合はノミ・ダニ用の燻煙剤を使う。またベットの寄生している時は駆虫剤を用いる。発生源を抑えることが重要。



同時開催
5/11(水)~

バックヤードのひみつ

~展示の裏側、お見せします~



昆虫館の裏側「バックヤード」には、普段はみなさんにお見せしていない種を含めてたくさんの昆虫が飼育されている部屋があります。今回はそんな昆虫館の秘密の部屋を紹介します。



昆虫館には2つの飼育室があります



箕面公園昆虫館には、昆虫を飼育するための部屋(バックヤード)が2か所あります。一つは放蝶園にチョウを飛ばすために幼虫を飼育する部屋、そしてもう一つは、バッタやカブトムシなどの陸生の昆虫と、ゲンゴロウやタガメなどの水生の昆虫を合わせたチョウ以外を飼育する部屋です。チョウの飼育室はガラス張りになっていて、中をご覧いただくことができますが、チョウ以外を管理する飼育室は普段は非公開になっています。

私がご案内します！



箕面公園昆虫館 飼育担当
井原 沙緒里 さん

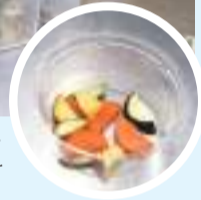
以前は東京の足立区生物園、北海道のゆにガーデンで昆虫展示の仕事に従事。2022年4月から箕面公園昆虫館のスタッフに！

飼育室での作業

飼育室では、毎日昆虫たちの飼育作業が繰り返されています。例えば、植物を食べる昆虫では、糞の掃除や食草や食樹の減り具合のチェックや交換、エサ用の植物を瓶に挿している場合には水の交換などの作業をおこないます。



カブトムシ、クワガタムシ
展示用の樹液の材料。



雑食の昆虫には野菜も与えています。

こんな機器を使っています

飼育室には、飼育のための機器が用意されています。例えば、恒温器(インキュベーター)は、温度や日長を調整して飼育環境を整えます。また、家庭でも見慣れた冷蔵庫も使用していて、エサに使う野菜などの保存や、低温を好む昆虫の飼育などに用いています。



植物食・雑食の昆虫

バッタやナナフシは草や木の葉など植物を食べる昆虫です。植物食の昆虫では、エサを長持ちさせるために、植物を「瓶挿し」にして飼育しています。

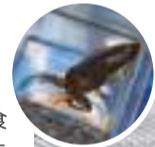
また、カブトムシやクワガタムシも幼虫では腐葉土など朽ちた植物を、成虫では木から出る樹液を食べる広い意味での植物食の昆虫です。

その他、コオロギなど雑食の昆虫には、野菜などの他にマウスフード、煮干し、昆虫ゼリーなどを与えています。



肉食の昆虫

カマキリやサシガメなど肉食性の昆虫には生きたエサを与える必要があります。肉食性の昆虫の場合、エサの栄養価が高いため、適度に間隔をあけて与えるようにしています。



飼育担当 井原さんに

一問一答

昆虫館の展示を裏側から支える飼育スタッフの井原さんにインタビューしてみました。



Q 飼育員の仕事のおもしろさは？

飼育を通して昆虫の生態がわかってくるところが面白いです。例えば、幼虫の成長の様子などは飼育をしていなければなかなかわかりません。右の写真は生まれたてのゲンゴロウの幼虫です。何を好んで食べるのか、どうすれば元気に育つのかを考えながらお世話をしていくことにやりがいを感じています。



Q 好きな昆虫は？

特に好きな昆虫はセイヨウミツバチとカイコです。が、どちらも昆虫館では現在飼育しておりません。残念…！昆虫館にいて好きなのはヒメマルゴキブリです。手のひらの上で、ダンゴムシのようにコロコロと丸まった姿がかわいらしいですね。じつは丸まることのできるのはメスと幼虫だけなんですよ。





箕面公園昆虫館は箕面公園内にあります

自然豊かな箕面公園も一緒に楽しみませんか？

①みのお大滝

公園の入口である一の橋を渡り、楓のトンネルや杉木立の中を溪流に沿って滝道を2kmほど歩くと、「日本の滝百選」に選ばれた高さ33mのみのお大滝(箕面大滝)に至ります。



②野口英世像

世界の医聖といわれている野口英世博士は、大正4年(1915)米国留学から帰国した際、待ちわびていた母を伴って箕面に来遊されました。それにちなみ博士の生前の偉業をたたえ、昭和30年(1955)11月に銅像が建立されました。



③望海展望台

急峻な展望道を登りつめると、視界が一気に広がり爽快な気分になります。天気の良い日には、ここから大阪湾を一望のもとに見渡せますよ！



④瀧安寺

658年飛鳥時代、役行者が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、山岳信仰修験道の根本道場として、大護摩法要(毎年4・7・11月)が行われます。本堂の弁財天は、江の島、琵琶湖竹生島、宮島とともに日本四弁財天の一つです。また、宝くじ(富くじ)発祥のお寺としても知られています。



ご注意とお願い

- ゴミは各自で持ち帰ってください。
- 公園内は火気厳禁です。焚き火・バーベキューなどはできません。
- 公園内は一般車両(自転車含む)の乗り入れはできません。
- 草花や木を採らないでください。
- サルやイノシシなど野生動物にエサを与えないで下さい。

感染防止対策にご協力願います。

- 入館者の「人数制限」と「見学時間の制限」をおこないます ※再入館はできません。 ※予約はできません。

詳しくは、箕面公園昆虫館HPでご確認ください。 <http://www.mino-konchu.jp/>

- 中止:「ふれあい体験」など館内イベント
- 館内一部コーナーや設備の利用制限があります
- 入館時、見学時はマスクの着用をお願いします。
- 検温にご協力をお願いします。

- ◎換気設備常時運転、排煙窓など開放する等の換気をおこないます。 ◎館内の定期的な消毒活動をおこないます。
- ◎スタッフはマスク着用、距離をとっての接客とさせていただきます。



屋外でも感染予防をしっかりと

マスクを着用する、お互いの距離をあげるなど感染予防対策をしっかりと行ったうえで、箕面公園および箕面公園昆虫館をお楽しみください。



箕面公園昆虫館の利用案内

- URL** <http://www.mino-konchu.jp>
- 所在地** 〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18 TEL.072-721-7967
- 開館時間** 午前10時00分から午後5時00分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 火曜日が休館(祝日のときは開館し、翌平日が休館)・年末年始(12/29~1/3)
- 入館料** 大人 280円、中学生以下無料、団体(有料入館者30名以上) 1名 200円
※障がい者手帖をお持ちの方、およびその介護者1名 無料
- 交通機関** 阪急宝塚線 石橋阪大前駅で箕面線に乗り換え箕面駅へ、千里中央駅から阪急バスで箕面駅へ

●箕面市立駐車場をご利用ください。箕面公園昆虫館には駐車場がありません(公園内、一般車両乗り入れ不可)

発行：箕面公園指定管理者 メイプルハーツ企業共同体

